

医歯学祭を終えて

歯学科3年 田中杏奈

2018年度新潟大学医歯学祭にて実行委員長を務めさせていただきました、歯学科3年の田中杏奈です。10月27日、28日に行われました、今年で第8回になります医歯学祭は、皆様のおかげで無事に開催することができ、成功裏に終わることができました。開催にあたりご協力いただきました、前田学部長をはじめ、山村先生、顧問の佐伯先生、学務系の皆様、歯学部関係者の皆様、誠にありがとうございました。またお忙しい中、大変多くの方にご来場いただき感謝しております。

今年は、「彩（いろどり）」をテーマに掲げ、①医歯学部の学生が主体的に明るく前向きに取り組み、各企画で皆がそれぞれの色（＝個性）を出す、②医歯学祭を通して各学部の学生同士や学生と地域の皆様が交流し理解を深め、皆で大きな笑顔の花を咲かせる、という目標の元、企画運営に取り組んで参りました。私自身このテーマを達成することができ、皆さんに楽しんでいただけた医歯学祭になったのではないかと考えています。

医歯学祭は、資金集め、企画立案、運営まで全てを実行委員中心に多くの学生が協力して準備していきます。今年はその過程において、どうしたらより多くの人に足を運んでいただくことができるのか、より医歯学祭を楽しんでもらいかつ医療に興味を持ってもらうためにはどうしたらいいの

かを大切にしていまいりました。例年の活動に加え、新しく医歯学部学生による健康診断として、血管年齢測定や骨密度測定等を取り入れたり、ステージ企画を充実させたり新たな試みを増やしました。その他にも、風に立つライオンのモデルにもなった柴田紘一郎先生をはじめ多くの先生方にお越しいただき、講演していただきました。歯学部としましては、例年大好評の無料歯科相談を今年も開催し、お越しになった多くのお客様の悩みを解決し、歯科疾患の予防に対する意識向上、定期検診の重要性を理解して頂けたことと思えます。

私自身このような規模の学祭の運営に実行委員長として関わらせていただけたこと、とても貴重な経験になりました。この経験を生かして、私自身良い歯科医師になれるよう、今後も勉学に励んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、医歯学祭は医歯学部の学生の日々の研鑽の成果を皆様に見ていただくことで、お互いにより理解を深めるとともに、日々ご協力いただいている方々への感謝の気持ちを伝えられるとても良い機会なのではないかと考えております。これからも医歯学祭がより多くの人に楽しんでもらい医療に興味を持ってもらえる良い場になるよう発展していくことを願っております。

